

## 基本的な感染予防対策の徹底！



3学期がスタートして約1ヶ月が過ぎました。その間に、全国的に新型コロナ（オミクロン株）感染が急激に拡大し、京都市内でも一日の新規感染者数が千人を超える日が続くなど、第5波のピークをはるかに超えるかつてないスピードと規模の爆発的な感染拡大となっています。病床使用率も日々上昇するとともに、学校・病院・福祉施設など様々な場所でのクラスターが発生し、社会維持機能や社会経済の停滞を招きかねない非常に厳しい状況です。この状況を踏まえて、1月27日（木）～2月20日（日）まで、京都府に「まん延防止等重点措置」を適用することが決定されました。私たちがすべきことは、基本的な感染予防対策（マスク着用・手洗い・密の回避）を改めて徹底することが大切です。京都市立小中学校でも、京都市の保健福祉部局と教育委員会の指導のもと、感染が判明した場合に疫学調査やPCR検査が実施されますが、感染者の急増により結果判明に時間を要し、結果が判明するまでは自宅待機をお願いしており、学級閉鎖や学年閉鎖をおこなっている学校が急増しています。生徒や保護者の皆さまには、ご心配とご迷惑をおかけすることとなり大変申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。先日、京都市教育委員会の指示により、今後の教育活動についてお知らせさせていただきましたが、感染拡大予防の観点から、学級閉鎖等の対応についての変更の通知がありましたので、ホームページ上の「教育委員会のお知らせ」にも掲載されている通知文を裏面にてお知らせさせていただきます。

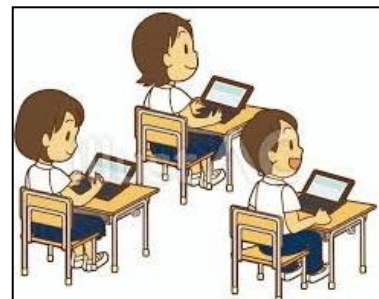
現在の感染急拡大している状況を踏まえ、学校教育活動の制限や制約が強まり、本校においても各教科等の学習活動において、「感染症対策を講じてもなお感染リスクが高い学習活動」の一時停止や感染リスクの高い活動を可能な限り実施を避けた教育活動を実施しています。その一つとして、一人一台のGIGA端末を活用しての授業展開や課題学習の提示、意見交流などを積極的に取り入れています。また、全国・近畿大会につながる部活動以外は当面の間、停止となり、今年度3回目の措置で、仲間と過ごす部活動を楽しみにし、目標を持って取り組んでいた部員たちにとっては、気持ちの持ちようが非常に難しく、残念で仕方ありません。でも、部活動での感染が起きている学校も全国的に多数ある現状ではやむを得ない措置だと思いますので、再開する時期に向けて、各自でのトレーニングや個人練習を地道におこなうなどの準備をしながら、モチベーションを維持しましょう。一日でも早く、この感染拡大がおさまり、安心した学校生活を過ごすことができることを願っています。

3年生の多くは、これから私立高校入試や公立高校前期選抜を控え、新型コロナやインフルエンザ感染予防を徹底しながら、自分の進路実現にしっかりと向き合い、それぞれ目標を立て、そこに向かって努力していると思います。先日の模擬面接においても、「志望理由」「将来の目標」「頑張りたいこと」などを、自分の言葉ではっきりと答えてくれました。これまでの成果を大いに発揮し、ベストを尽くして頑張ってください。また、1・2年生は、進級する次の学年への大切な準備期間となります。これまでの自分、今日からの自分、そして、4月からの自分の姿をイメージしながら過ごしてほしいと思います。過去・現在・未来の自分を意識できるようになると、人は大いに成長すると思います。1年間をしっかりと振り返り、今の自分を見つめ、来年度に向けての準備をしましょう。

市民の皆様へ ～基本的な感染防止～

基本的な感染防止対策の徹底をお願いします

- 正しいマスクの着用、こまめな手洗い  
外出先での手指消毒の活用、密の回避（一密にも留意）の徹底
- 人と人との距離を1m以上確保し、  
大声での会話を控えて
- 室内では適切な温度と湿度を保ち、  
こまめな換気を



## 【2月のおもな学校行事】

- ・2月10日（木）～…京阪神 私立高等学校入学試験
- ・2月16日（水）～17日（木）…京都府公立高等学校 前期選抜および特別入学者選抜
- ・2月22日（火）～25日（金）…1・2年生、9組「第5回テスト」
- ・2月25日（金）…3年生「思春期学習」（5・6限）

〔※2年生伝統公演鑑賞・1年生科学センター学習【中止】〕



## 【新型コロナウイルスに感染した在籍児童生徒等について、感染可能期間の登校が確認された場合の基本的な対応について（京都市立小・中・小中学校）】

○新型コロナウイルスに感染した在籍児童生徒等が、感染可能期間に登校していることが確認された場合、感染者の最終登校日（＝最終接触日）の翌日から土日含む7日間を学級閉鎖（自宅待機）期間といたします。

（幼稚園、高等学校、総合支援学校については、教育活動の特性を踏まえ、閉鎖の規模・期間等を判断します。）

○また、これまでは、感染者の感染可能期間中の登校が確認された場合は、原則、感染者が在籍する学級全体等へPCR検査を幅広く実施しておりましたが、この度のオミクロン株の影響による第6波においては、一律に学級全体等へPCR検査を実施する従来の方針を変更し、感染者や体調不良者等が複数確認されている場合等、必要性や優先度のより高い状況の場合に重点化してPCR検査を実施します。

○これに伴い、当該学級等の他の在籍児童生徒（以下、「在籍児童生徒」という。）の健康状態に問題がない場合等は、集団PCRを実施せず、感染者の最終登校日（＝最終接触日）の翌日から7日間（土日含む）の学級閉鎖期間に、児童生徒の健康観察で対応いたします。

○なお、疫学調査は、教育委員会において実施し、学校から提出された資料や学校への聞き取りを基に、在籍児童生徒等の濃厚接触者の有無を判断いたします。「濃厚接触者としての特定の有無」については、概ね、「感染者確認の家庭連絡」の第一報から3日目を目途に、再度、学校を通じて各家庭へご連絡させていただきます。

○疫学調査によって濃厚接触者の有無が特定されるまでの間（PCR検査を実施する場合は、その結果が判明するまでの期間も含む）については、同居のご兄弟姉妹・ご家族の皆様は、不要不急の外出等をお控えいただきますよう、ご協力をお願いいたします。なお、こうした期間の就学前施設や勤務先等（以下、「施設等」という。）の利用・出勤等の可否については、各ご家庭において、直接、施設等へご確認をいただきますようお願いいたします。

○濃厚接触者に特定された在籍児童生徒については、PCR検査の受検をお願いしますので、詳細は、特定された際に、学校からご連絡いたします。

○お子様が濃厚接触者としてPCR検査を受検していただく場合は、検査結果判明まで引き続きご兄弟姉妹・ご家族も外出自粛にご協力をお願いします。また、濃厚接触者に特定されない場合は、皆様の外出も差支えございません。

なお、施設等の利用・出勤等の可否については、各ご家庭において、直接、施設等へご確認をいただきますようお願いいたします。

○また、在籍児童生徒に風邪症状等の体調不良がみられる場合には、速やかに学校へご連絡いただくとともに、在籍学級等で感染拡大が懸念される場合は、濃厚接触者に特定されなかったとしても、PCR検査の受検にご協力をいただく場合があります。

○この度の変更は、感染急拡大により、従来のスケジュールでは感染者確認後のPCR検査の結果判明等が実施できない場合が生じる中で、感染拡大防止の徹底を図るとともに、ご家庭に対して、予め期間を明示させていただくことで、御家族の外出自粛の御協力などについても見通しを持って対処いただけるようにするためのものであり、学級閉鎖期間中は各家庭にもご負担をおかけする部分がございますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。